

課題になっている行動 (気になる行動)

## 丁寧になりすぎる 作業に時間がかかる 力が入りすぎる

せ

精いつばい  
やればやるほど  
しかられて



監修・文 水野敦之 絵: 宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 様々な状況の変化 状況の。指示の変化がある</li> <li>■ 影響を与える刺激や情報 指示が曖昧である</li> <li>■ 必要な支援がない 本人がイメージできる具体的な 指示がない 正確さとスピードを含めた見通 しが提示されていない</li> <li>□ その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受容コミュニケーション の特性: 「丁寧に」「ほど ほどに」の曖昧な指示の理 解が難しい</li> <li>■ 時間の整理統合の困難 さ: 状況にあわせた時間 (スピード)の調整が難し い</li> <li>■ 関係理解 (意味理解)・ 般化の困難さ: 状況にあわ せた質とスピードの調整が 難しい</li> <li>■ 微細運動・粗大運動: 強 弱の入れ方の調整が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 習慣になっているものがある</li> <li>■ 自分流の気づき・考え方もつ 自分は丁寧にやっている</li> <li>■ 過去に経験したこと学んだこと 丁寧にしなさいと言われた経験 丁寧にやって認められた経験</li> <li>□ 過去に経験したことにより恐怖や嫌 悪感をもっていること</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行動前の状況※ 「丁寧にしなさい」と指示された 曖昧でわかりにくい指示</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行動後の状況・結果※ 丁寧にやって褒められた・認められた</li> </ul>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
1対1で相談・教える場面や時 間がある	具体的な言葉の指示は理解でき る 文章、絵、図解、表、グラフな どの理解がある	認められたいと思っている

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
<p>環境を変える部分は?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が理解できる文章や図 解、表などを使って伝える。</li> <li>・度合いを表グラフなどを使っ てイメージを伝える。</li> <li>・1対1の場面・時間で教える</li> </ul>	<p>本人の特性にあわせた支援は?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が理解できる形でスピー ドと正確さ(質)、力の入れ方 などを伝える。</li> </ul>	<p>本人に伝える・教える部分は?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的なイメージとあわせ て、できた部分をフィードバッ クする。事例を繰り返す。</li> </ul>

解説と支援の方向性について

自閉症の人は、1つのことに集中すると私たちが想像を絶する量と制度を上げるこ  
とがあります。しかし、時にそのまじめさが周囲から注意を受けることがあります。  
「手をぬくことができずに時間がかかりすぎる」「ほどほどの理解が難しい」「力が  
入りすぎる」などです。柔軟さを教えるには、明確でイメージできる指示とポジティ  
ブなフィードバック (評価) が必要です。